令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	35_山口県
市町名	35206防府市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型１	課題の類型２	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
35206防府市	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	時間外勤務の時間が月45時間以上の教員の割合が小学校で34．4%、中学校で49%であり、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	学校運営協議会で山口県教育委員会が出している働き方改革の資料を委員へ提示したり、防府市教育委員会から議長へ防府市内の教員の時間外勤務の時間について具体的な数値を提供したりしている。結果、やや改善傾向にはあるが、働き方改革で教員全般が楽になったとの誤解も生まれている。	・市内公民館を拠点に配置した地域学校協働活動推進員15名と各校の学校運営協議会委員と防府市教育委員会を中心にして、各学校の実態がわかる具体的な数値を提示し、教職員の働き方改革に対する地域・保護者の理解を図る。 ・地域学校協働活動推進員が中心となって学校支援ボランティアをコーディネートし、教職員の業務負担を軽減する。	地域住民・保護者の理解から、学校・家庭・地域の役割分担の明確化による地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	時間外勤務の時間が月45時間以上の教員の割合	38	%	35	31.5	05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した	・ほぼすべての学校で勤務の時間の実態を学校運営協議会で報告・協議が行われるようになった。保護者や地域住民の働き方改革に対する理解は進んだと考えられる。今後は、各公民館に配置している地域学校協働活動推進員を中心に学校支援ボランティアを手厚くすることを通して時間外勤務が45時間以上の教員の割合のさらなる低減を図っていく。
35206防府市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	各教室のスタッフのメンバーが固定化されていることや高齢化などにより、体験活動の種類や活動に参加できるこどもの数が減少傾向にある。	放課後子ども教室コーディネーター同士や他課と放課後子ども教室についての情報交換の場を持つことにより、好事例を共有して活動を活性化させ、市内合計で年間200回以上実施。しかし、各教室のこどもの参加人数は減少傾向にある。	・各放課後子ども教室に留守家庭児童学級（放課後児童クラブ）との連携を働きかけながら、事例やノウハウを紹介等することで、連携回数を増やし、体験活動へのこどもの参加人数を増やす。 ・講師をもつ他団体と連携し、新規の体験活動の場をつくる。	多様な体験活動を行うことにより、友だちや地域と積極的に関わろうとする児童や他者を思いやることのできる児童が増える。また、地域の人たちとの温かい関わりにより、地域への愛着や地域貢献の意識が高まる。	市内の放課後子ども教室と留守家庭児童学級（放課後児童クラブ）が連携して参加した留守家庭児童学級（放課後児童クラブ）のこどもの延べ人数	1300	人	1500	1550	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	・放課後子ども教室コーディネーターの連絡会議の場などで、放課後子ども教室との連携を依頼したところ、放課後児童クラブに在籍する児童の受け入れ数が増加した。しかし、在籍児童数に対してスタッフの人数が不十分という課題も顕在化してきた。補助金の減少傾向並びに謝金単価の増加が続く中、これ以上のスタッフの増員、実施時間数の増加は難しいのが現状である。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。